

愛媛大学 CBP (障がい学生支援ボランティア)



3人形態 ～文系～

古文の読み下し、古語の読み方など、PCNTだけでは理解が難しい。



代筆支援者が隣に座り、古文独特の表現を資料やノートに書き取る。

PCNT

愛媛大学で最も行われている支援方法。
ノートテイクよりも多くの情報を提供できる。
また、利用者は自分の好きな場所に友達と一緒に座ることが可能。

3人形態 ～理系～

専門用語や数式など、PCNTだけでは補いきれない。



代筆支援者が隣に座り、専門用語や数式を資料やノートに書き取る。

ゼミ

IPtalkの入ったパソコンに教員・学生全員が文字を打ってゼミを進行する方法。
ゼミ学生が障がい学生の状況を考えながら進行することが可能となる。

支援スタイル 七変化

～様々な支援の方法～

UDtalk

グループワークでは、入力が間に合わないことが多々あった。



誰でも使えるので、意思疎通がしやすくなり、グループ内の進行がスムーズになる。

外国語支援

講義中に外国語と日本語が両方使われる。



留学生や、留学経験のある学生がペアを組むことで、外国語と日本語を切り替えながら、柔軟に文字通訳を行うことができる。

ノートテイク

屋外活動や実験など、PCNTが難しい講義、資料を中心に進める講義で有効な支援手段。

最後の ピースを 埋めるのは 利用者だ！

愛媛大学に在籍する支援が必要な学生数
(2016年8月現在)

- 全障がい学生数：37名
【内訳】聴覚：5名 /
視覚：2名 / 肢体不自由：2名
病弱・虚弱：4名 / 発達障害：12名
精神障害：8名 / その他：4名
- 障がい学生支援ボランティア(CBP)：22名
- 支援者数：112名

問い合わせ先

【愛媛大学CBP(学生)】
E-mail: cbp.scv@gmail.com
【教育学生支援部 学生生活支援課
バリアフリー推進室】
住所：〒790-8577
愛媛県松山市文京町3番
TEL/FAX: 089-927-8114
E-mail: bfree@stu.ehime-u.ac.jp